



お抹茶でのおもてなし(兵庫大学)



親鸞聖人像のお莊嚴



優しい語り口の増井師



モダン寺新聞

宗祖降誕会、勤修 ～八百四十三回目のお誕生日～

第43号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院
〒650-0011
神戸市中央区下山手通八丁目一番一号
TEL 078-341-5949

別院だより

五月二十四日（日）、親鸞聖人降誕会がお勤まりになりました。

降誕会とは、親鸞聖人のご誕生をお祝いするご法要のことです。本願寺第二十一代のご門主明如上人によつて西本願寺で営まれて以来、一般のお寺にも広まりました。

親鸞聖人は、平安末期の承安三（一七三）年お生まれになりました。今年で八百四十三回目の誕生日をお迎えられますことになります。

現代を生きる私たちが仏法に出遇うことができたのは、親鸞聖人がこの世に生を受けて、その生涯をかけて仏法伝道にいそしまれたおかげです。今日、そのみ教えに出遇えたことをよろこぶとともに、親鸞聖人にお礼を申し上げる法要なのです。

法要当日は、別院仏教社年会の皆様にお磨きいたいた親鸞聖人像の前で讚仏偈をお勤めした後、会場を本堂に移して法要が勤まりました。本堂に移して法要が勤まりました。法要では、雅楽の音色に併せて兵庫大学茶道部の皆様にお餅をお供え頂いた後、正信偈がお勤めされました。当日は梅雨前の時期ということもあって、からつとした夏の陽気で、汗をかきながらのご参拝でした。前庭でのおつとめの後、法要が営まれました。法要に際しては、兵庫大学茶道部の方々にお抹茶の接待をしていただきました。

親鸞さまの教えです。

親鸞さまは、お念仏は『かなう』ことだと仰いました。しかし、それは願いが叶うわけではありません。お念仏を称える私たちの姿が、仮さまの『お念仏称えて往生してほしい』という願いにかなっているのです。

ご法話は増井淨見師（赤穂郡淨蓮寺）にいただきました。

（以下要訳）

「これから何年生きるんだろう、そうお考えになられる方もいるのではなうでしょうか。私が札幌別院で法話のご縁をいただいたとき、元気よく『百二十歳まで生きたい』と仰っている方がいました。一方で、私が訪れたある地域では、『百十九歳まで生きた方』が銅像になつていらつしやいました。百三十歳まで生きるというのはなかなかの高望みかもしれません。『長く生きたい』のが本音ですが、多少生き長らえることはできても、人生といふのはなかなか思い通りにはいきません。

しかし、人間には思い通りにしたいという欲望があります。現実との欲望のはざまで私たちは苦しむのです。こういった人生や一つ一つの物事の意味を教えてくださるのがお念仏の教え、親鸞さまの教えです。

仏さまの願い

七月のご法座より

七月四日（土）、第一土曜仏教講座が催されました。ご講師は、足利孝之氏（尼崎市安養寺）でした。

足利氏は、「親鸞聖人は晩年に多くの書物を残されています。その一つである門弟の有阿弥陀仏という方に宛てられたお手紙の中に『この身は、いまは、としきはまりて候へば、さだめてさきだちて往生しそうらへんば、淨土にてかならずかならずまちまるらせ候べし。』と記されてあります」と親鸞聖人のお手紙をご紹介されました。

続けて、「現代語になおせば、『この私は、いまはすっかり年をとつてしまい、きっとあなたにさきだつて往生するでしようから、淨土であなたのおいでを必ずかなはず待つております』」という意味になるとお話しになりました。

「（仏説阿弥陀経に）『俱会一処』という言葉がありますが、これはともに一つの場所で会ううことです」とその意味をお話になり、私たち念佛者には、この世でいのち尽きたとき親鸞聖人にお会いできる世界、先に往生された方々にお会いできる世界である、お淨土があるのだとお話になりました。



アスレチックは難関の連続

駅から少し歩いたこともあって、着いた頃にはもうみんなお腹が空いていた様子。すぐに色とりどりのお弁当を広げ、おかげやおやつを交換したりして午後からのアスレチックに向けてエネルギーを蓄えていました。

午後からはいよいよアスレチックです。ターザンロープや大きなすべり台ではひときわ大きな歓声が起こり、まぶしい笑顔が見られました。

険しい道に悪戦苦闘しながらも、みんなで力を合わせて無事全員ゴールすることができます。なんだかひとまわり成長してたのもしくなったように見えました。

アスレチックの後は冷たいラムネを飲んでひとやすみして、公園内の噴水近くで遊んで、お日さまに負けないくらい元気いっぱい楽しみました。

帰りに感想を聞いてみると、「楽しかった」「まだ帰りたくない」と口々に楽しんでくれました。

モダン寺土曜子ども会 春の遠足



五月三十日、今年もモダン寺土曜子ども会春の遠足を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、綺麗な青空が広がっていました。

今年の行き先は須磨離宮公園。切符を持って電車に乗り込みます。電車の中でも子どもたちはわくわくをおさえられないようでした。



ラムネおいしい!!

モダン寺土曜子ども会会員募集中

月に一度、お寺で学ぼう、遊ぼう。

活動内容：月に一度モダン寺で・仏参・レクリエーション（日程等はお便りにてお知らせ）
(4月花まつり、5・10月遠足、8月モダン寺サマースクール、3月修了式など)

対象年齢：～中学生 **年会費：**無料（遠足などは都度で参加費をいただきます）

お問合せ先：本願寺神戸別院 モダン寺土曜子ども会担当 TEL078-341-5949（代）



伝灯奉告法要日程

(全10期全80日80座)

— 2016(平成28)年 —

- 第1期 10月1日(土)～10月8日(土)
- 第2期 10月20日(木)～10月27(木)
- 第3期 11月4日(金)～11月11日(金)
- 第4期 11月18日(金)～11月25日(金)

— 2017(平成29)年 —

- 第5期 3月7日(火)～3月14日(火)
- 第6期 3月28日(火)～4月4(火)
- 第7期 4月11日(火)～4月18日(火)
- 第8期 4月25日(火)～5月2日(火)
- 第9期 5月9日(火)～5月16日(火)
- 第10期 5月24日(水)～5月31日(水)

いずれも京都・本願寺において午後から1座のみ
ただし2017年4月28日に限り、大谷本廟にて修行



伝 灯 奉 告 法 要

昨年六月六日に本山本願寺にて、法統継承式がとりおこなわれ、ご門主様のお代替わりが行われました。それにともない来年、再来年と、伝灯奉告法要が修行されます。伝灯奉告法要とは、宗祖親鸞聖人があきらかにされた真実の教え「淨土真宗のみ教え」(法燈)が第二十五代専如ご門主へと伝えられたことを、仏祖の御前に告げられるご法要です。「淨土真宗のみ教え」が確かに現代まで引きつがれてきたことをお喜びし、お念佛を伝えてくださった方々に感謝させていただくご縁として、ともどもに京都・本願寺に参拝いたしましょう。

杉本正信氏が輪番に着任

天何組專福寺住職。

別院輪番となる。京都教区
和歌山・滋賀など各地で教務所長を務め、本願寺神戸

▽一九五五年京都府生まれ。
龍谷大学卒業後、京都教務所に二十年勤務し、その間、
佛教婦人会・佛教青年会・
門徒総代会等の教化団体を担当、教化畠を歩む。大分

杉本 正信
すぎもと・しょうしん



◆◆◆ ごあいさつ ◆◆◆

本年四月一日付で、神戸別院輪番を拝命いたしました。ご門主様のお代替わりを仏祖に奉告すると共に、お念佛のみ教えが広く伝わることを願ってお勤まりになる、「伝灯奉告法要」を明年度に控えた重要な時期に、誠に身の引き締まる思いであります。ご法義繁盛のため門信徒の皆様と共にお念佛の道を歩ませていただきと思っておりますので、ご指導・ご協力の程よろしくお願い申しあげます。

さて、昨年は「異常気象!」と言われるように、近畿各府県をはじめ広島や北海道等、全国各地で集中豪雨が毎日のようにおこり、土石流等で多くのいのちが奪われ、また床上浸水等の被害があちこちで発生いたしました。

自然に対して、私たちは自分の意志にそぐわないこと、また自分の考え以上のことことが起こると、「まさか!」とか「異常!」とか「想定外!」とか自分達の考えを正当化し、そのような言葉で責任転嫁しているように思えます。しかしこう考えてみますと、例えば電車の脱線事故や交通事故のように、精密機械であれ、条件がそろえば大事故に繋がってしまいます。まして優柔不断な心に左右されている私たちは、条件さえそろえば何をしてかすか分からない存在なのです。私たちは“まさか”的人生を送っているのです。

お念佛に出会うとは、そのような「まさか人生」を、今どのように、どこへ向かって歩んで行くべきかを明らかにしてくれる羅針盤であり、自己中心であった我が身を省みて、今まで気づかなかったこと、見ぬけなかったことをお互いに気づかせて頂く世界であります。

法に聞き、法を語り、法に生きる生活を根底に、心豊かに生きることのできる社会の実現にむけて、共々に歩んでまいりたいものです。

本願寺神戸別院行事予定

九月

第一土曜仏教講座

五日(土)午後一時半より

◆講師◇真宗興正派西教寺住職

谷口亮昭師

仏教婦人会定例法座

七日(月)午後一時半より

◆講師◇阪神南組長安寺

渡邊顯代師

常例法座

十五日(火)

十六日(水)午後一時半より

◆講師◇宍粟組妙福寺

宏林教正師

秋季彼岸会

二十二日(火)
二十四日(木)

午後一時半より

◆講師◇滋賀教区甲賀組報恩寺

九條孝義師

十月

第一土曜仏教講座

三日(土)午後一時半より

◆講師◇安芸教区佐伯奥組最広寺

中村英龍師

仏教婦人会定例法座

七日(水)午後一時半より

◆講師◇姫路南組最勝寺

八木顕宣師

常例法座

十五日(木)

十六日(金)午後一時半より

◆講師◇揖龍西組源徳寺

窪田憲龍師



●神戸別院二十周年

平成七年、あの阪神・淡路大震災の発生した年の九月に竣工して以来、本願寺神戸別院は今年で、竣工二十周年を迎えます。そこで例年、十一月に勤修しております報恩講法要に、二十周年記念法要を併修し、より盛大なご法要を修行することとなりました。記念品などもご用意いたしておりますので、ぜひ、皆さまお誘いあわせのうえご参拝ください。日程は、本年、十一月二十五日(水)から十一月二十八日(土)までの四日間となります。詳しく決まり次第ご案内申し上げます。

八月十五日(土)、午後一時三十分より神戸別院本堂にて、お盆の法要をお勤めいたします。ご法話はこの度着任いたしました神戸別院輪番・杉本正信です。皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひご参拝下さい。

盂蘭盆会



大阪教区天野南組念佛寺
佐々木きょうこ教子
(承仕・書記)



滋賀教区坂田組上妙寺
河村のぶや
信弥(臨時勤務員)

四月より神戸別院に奉職させていただくことになりました。ご門徒様の顔を覚え、あたたかなつき合いを常にこころがけ、お念佛相続に貢献したいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

◆ ご 報 告 ◆

非常勤にてご勤務いただきました、尾井秀瑛副輪番・西本慧舟参勤が、今年三月をもって退職いたしました。また、古屋淳臣参勤が福井別院に異動いたしました。

新入職員ご紹介